

# J P 労組北陸退職者の会会報

## なんば奨二後援会活動が終盤に



福井連協大規模集会で誓う山本福井連協会長(2月6日)

### 後援会への加入促進に全力を注ぎ

**「躍進2016」現場第一  
未来を見つめるJ P 労組集会以  
退職者の会も「なんば再選」を誓う**

J P 労組北陸退職者の会は、去る2月6日・7日、福井・富山・小杉・金沢・七尾のそれぞれの地域で開催された連協別大規模集會（「躍進2016」現場第一・未来を見つめるJ P 労組集會）に約200名余りの参加要請に応えました。この大規模集會は、現役組合員が郵政3社の株式上場などが与える多くの不安に対して、J P 労組北陸地方本部が、中央本部増田副委員長となんば奨二参議院議員を迎えて、郵政グループ企業の課題と労働組合としての取組み、郵政事業が

抱える課題と政治的取り組みについて講演会方式で学ぶという企画と同時に、本

### J P 労組退職者の会 地方会長・事務局長会議を

J P 労組退職者の会中央幹事会は、3月15日、J P 労組中央本部で「地方会長・事務局長会議」を開催し、①組織活性化に対する取組み、②J P 労組退職者の会としての最終版に向けた対応、③第2回全国総会に向けた行動計画——などの議題について提案し、協議、意識統一をはかった。

年7月の参議院選挙は「なんば奨二再選」によって国会における政治勢力図を変えるための歴史的にも重要な闘いであること意識固めと位置つけたものでした。私たち退職者の会も、年金・医療・介護問題などを克服して、退職者の生活の安定と向上に向けて取り組んでくれるのは「我らが仲間・なんば奨二しかない」との意気込みで、各集會会場で「再選に向けて後援会への加入に最後まで取り組む」ことを誓いました。

北陸退職者の会からは坂本会長と串田事務局長が出席し議論に関わりました。今後は、各連協幹事会で報告・実践要請します。

### 会費の自払い

今年度のJ P 労組退職者の会年間会費(2500円)の自動引き落としは、4月15日(金)です。

第8号  
2016年4月1日  
発行責任者  
坂本哲治  
編集責任者  
串田信行

# 「富山連協退職者の会」活動だより

## なんば再選を確認した 2016年「新春の集い」

J P 労組富山連協退職者の会(中村繁会長)は、去

る2月7日、高岡駅前の「カジユアルダイニング・ボン」で「新春の集い」を

開催しました。

会員のみなさんを始め北陸退職者の会山本忠副会長、現役富山連協役員、富山西部支部長、富山チヨリツ



プ支部長等が来賓として、総勢25名の参加を得て開催しました。

今年の新春の集いは、水瀬あい子歌謡ショーやカラオケもあり、和やかな雰囲気の中、会員相互の親睦と交流をはかることが出来ました。

中村繁会長および来賓の方々のあいさつで、今年の7月に予定されている参議院選挙に立候補する「なん

ば奨二」の再選に向けて最大限の取組み要請があり、参加の会員等は一丸となつて積極的な取組みを行うことを確認しました。

## 「躍進2016」現場第一 未来を見つめるJ P 労組富山 東部集会以て誓う

2月6日、富山西部大規模集會に引き続き富山市内「ボルファート富山」で開催された富山東部大規模

今年の富山連協退職者の会の新春の集いは、さながら「なんば奨二」再選に向けた決起集會の様相を呈していました。

## 「躍進2016」現場第一 未来を見つめるJ P 労組富山西部集會 で誓う

J P 労組富山連協は、2月6日、射水市小杉町「アイザック小杉」で組合員とその家族および退職者の会会員約240名を集めて、大規模集會を開催しました。富山連協退職者の会富山西部支部から会員約10名が参加し、退職者の会を代表して門田宣子富山連協退職者の会副会長が「退職者の会会員は一丸となつてなんば奨二の再選に向けて後援会活動に取り組んでいきます。今後、精一杯の取組みをすることを誓います。お互いに頑張りましょう」と決意を述べました。



# 石川連協退職者の会」活動だより

## 退職者の会会員等65名が参加 「学習と交流の集い」

J P 労組石川連協退職者の会（坂本哲治会長）は、3月21日～22日にかけて、七尾市和倉温泉「海望」で「第一回学習と交流の集い」を開催しました。



退職者の会会員ほか現役組合員の代表等合わせて65

名が参加した今年の集いは、坂本会長から主催者代表のあいさつ、J P 労組北陸地本の中西伊知郎書記長から情勢報告、続いて、西田一

朗 J P 共済生協北陸地方部長の共済商品説明を受けました。  
メインとなる記念講演は、近藤和也民主党石川県連会長（元衆議院議員）による「今後のマーケット環境と政局」と題して、①日本の経済観と世界経済、②マイナス金利の影響、③郵政関連株の動向、④資産運用のあり方、⑤そして参議院選挙と衆議院選挙の行方――

について学びました。  
一風呂浴びた後、夕食に移り、全国退職者の会川島靖副会長の音頭で始まった懇親会。参議院選石川選挙区から立候補を予定している柴田未来氏が駆けつけてあいさつ。のご自慢の会員等が繰り広げるカラオケ合戦など、時間の経つのも忘れるようなひとときでした。  
翌日は朝食後に二々五々、無事帰宅しました。

## 「躍進2016」現場第一 未来を見つめるJ P 労組石川連協集會 金沢会場・七尾会場へ誓う

J P 労組石川連協は、2月7日、金沢市「石川県文教会館」と七尾市「サンライフプラザ七尾」の二会場で、大規模集會を開催しました。金沢会場は約650名、七尾会場は約230名の組合員とその家族そして退職者の会会員が結集し、増田中央副委員長となれば奨二参議院議員の熱い報告と訴えを聞いて決意を新たにしました。坂本哲治石川連協退職者の会会長と道筋巳代治能登支部退職者の会会長が会員を代表して、「退職者の会もならば奨二の再選に向けて最後の最後まで闘いを進める」ことの決意を述べると共に、現退一体となった取組みをお互いに進めることで相乗効果をあげようと訴えた。



# 「福井連協退職者の会」活動だより

## 第1回福井連協親睦交流レク

### 早春の若狭路

### 「お水送り」行事に26名が参加

J P 労組福井連協退職者の会（山本忠会長） 会員等26名は、3月2日、小浜市の神宮寺で催された「お水

送り」に参加しました。この「お水送り」は、遠敷川の鵜の瀬から注ぎ込まれた水が、10日後に奈良・

東大寺二月堂の

「若狭井」に届く（お水取りの行事）

と言う全国的にも有名な行事で、福井県内の会員でも、

初めて見る方もいました。

午後2時に小浜道の駅に集合し、山本会長が主催者代表としてあいさつを、受け入れの福井南部支部の高山会長および北陸退職者の会から参加の串田信行事務局長がそれぞれあいさつをしてスタートした親睦交流レクは、まず「若狭歴史博物館」の見学、続いて「若狭姫神社」「森林の水PR館」を回りました。



夕食懇親会後いよいよ「お水送り」行事が執り行われる神宮寺の境内に。境内では大護摩に火が焚かれ、山伏姿の行者や白装束の僧侶・神職がご祈祷の済んだ

竹筒を先頭に、手にはそれぞれが松明を持って約一八キロの街道を鵜の瀬に向けて歩き始め、参加した一般の観光客も松明を手に長い

行列が出来ました。竹筒の水は、祝詞とともに遠敷川に注がれました。午後9時30分、全ての行事が終わり解散し帰路に。



## 「躍進2016」〜現場第一

### 未来を見つめるJ P 労組福井連協集会以て 「なんば奨二再選に最大限の取組み」を誓う

去る2月6日、J P 労組福井連協は、福井フエニックスプラザで組合員および退職者の会会員等200名の参加の下、大規模集会を開催しました。福井連協退職者の会からは会員21名が参加し、連協退職者の会を代表して山本忠会長が「J P 労組の組織内としての退職者の会を作って2年、現退一体の活動を展開しています。今夏の参議院選挙においても「なんば奨二」と福井県選挙区の「横山たつひろ」の必勝に向け、最大限の取組みを進めていきたい」との強い決意を述べました。

